長野県ＰＴＡ連合会広報紙

県Ｐ通信

令和８年度　第３号　No.１４

チーム信州ＰＴＡ！

Nov. 2026

今を大切に、未来へつなぐ

～こどもまんなか　自分たちで考えるＰＴＡ～







Contents　－ 目 次 －

長野県小・中校長会との懇談会・・・・・・　Ｐ２
陽だまり懇談会・・・Ｐ３～４
長野県16郡市ＰＴＡ連合会の紹介・・・　Ｐ５～６
事務局長のひとり言・漢字クイズ・・・・・・Ｐ７

長野県小・中学校長会との懇談会



令和８年９月24日（木）、信濃教育会館において長野県小・中学校長会と長野県PTA連合会との教育懇談会を開催しました。

今回のテーマ：「先生方の働き方改革を本気で応援する県ＰＴＡ」
～学校・校長会と共に、実行できる取組を考える～

当日は、校長先生方と県ＰＴＡの参加者が８つのグループに分かれ、ＰＴＡが学校で役立っていることや、これからさらに力になってほしいこと、県ＰＴＡとして実行できることについて意見を交わしました。立場や地域によって状況は異なりますが、子どもたちのより良い成長と教育環境を願う思いは共通しています。今回の懇談を通じて、学校とＰＴＡが互いの実情を知り、率直に話し合うことの大切さを改めて感じました。

ＰＴＡは学校に何かをお願いするだけでなく、学校の実情や困りごとを知り、子どもたちのために一緒に考え、行動する役割があります。今回の懇談を一度限りで終わらせず、継続した対話と連携につなげていきます。なお、各グループで出されたご意見については、現在取りまとめを進めています。詳しい内容は、改めてご報告します。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

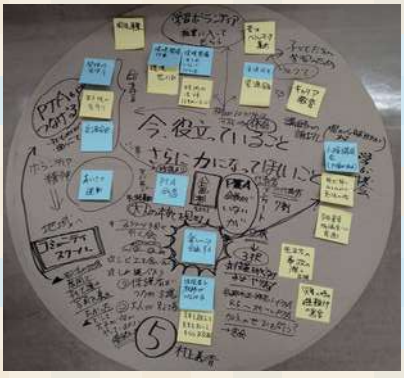
（教育連携委員会委員長　山岸　袈裟幹〈副会長〉















「知る・食べる・つながる！」～「食」から広がる家庭教育の輪～

令和８年度

陽だまり懇談会



子育て委員会の今年度最初の事業として、１０月２０日（火）に陽だまり懇談会を開催しました。

今回は長野市第四学校給食センターの見学と長野県学校給食会の近藤理事長による講話、そして会場参加者とオンライン参加者によるワールドカフェを行いました。

【知る・食べる】

長野市第四学校給食センターを見学！







午前の部では「長野市第四学校給食センター」を見学し、安全でおいしい給食づくりの工夫や、子どもたちの食を支える取り組みについて学びました。

こちらの給食センターは管内28校、約10,400食の調理を行う県内最大の給食センターです。当日は作業中の施設内を堀内所長にご説明をいただきながら見学しました。見学後には、堀内所長、栄養教諭の小林先生、長野市教育委員会保健給食課の鈴木様より給食センターの概要から献立や食材、衛生と食育の取り組みについてお話をいただきました。

実際に当日管内で提供される給食も試食し、食の大切さや、給食づくりに携わる方々への感謝を改めて感じる貴重な機会となりました。





【知る・つながる】

長野県学校給食会近藤理事長の講話とワールドカフェで思いを共有！



午後の部の前半は、長野県学校給食会　近藤理事長の講話をお聞きしました。後半ではワールドカフェを行い、講話の感想や家庭での食育について、また、ＰＴＡ活動の前半を振り返り、後半に向けた思いや課題について、グループに分かれて語り合いました。

近藤理事長の講話からは、毎日の食事が子どもの成長を支える大切なものであることを改めて考え、食事を支える人々への感謝や食材への関心などの学びを深めました。そしてＰＴＡ活動についてのやりがいや負担など、さまざまな経験を共有する中で、新たな気づきや今後の活動へのヒントを得ることができました。











今回の懇談会を通して､「知る」ことで学び､「食べる」ことで実感し、「つながる」ことで互いに支え合うことの大切さを改めて感じました。この出会いと学びを、家庭や地域での実践につなげ、子どもたちの健やかな成長をみんなで支える輪を広げていきたいと思います。

開催にあたり、ご協力くださいました皆様、貴重な経験と学びの時間をいただき、心より感謝申し上げます。また、会場やオンラインを通じてご参加くださいました皆さま、お会いできてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

次回は春の「陽だまり研修会」でお会いしましょう！

（子育て委員長　竹内　由貴〈副会長〉



２０２４年度から引受保険会社がＡＩＧ損害保険に変わりました。
信州子育て応援総合補償制度
～大切なお子様のための補償制度～
長野県ＰＴＡ連合会安全互助制度
～ＰＴＡ活動を安心して行うために～
ＡＩＧ損害保険株式会社　松本支店
〒390-0814 松本市本庄1-3-10 松本博労町ビル
Tel：0263-35-1933
受付時間：午前９時から午後５時まで（土・日・祝日・年末年始を除く）
https://www.aig.co.jp/sonpo
長野県ＰＴＡ連合会
AIG損保

長野県 つながる・広がる・地域の輪
16郡市ＰＴＡ紹介

長野県ＰＴＡ連合会は、16の郡市ＰＴＡ連合会で構成され、地域ごとの特色を活かしながら連携し活動しています。このコーナーでは、北信・中信・東信・南信の各地区から、郡市ＰＴＡの活動や取り組み、地域の魅力などを紹介していきます。

北信　飯水ＰＴＡ連合会の今後を考える



飯水ＰＴＡ連合会



飯水ＰＴＡ連合会は、学校統合による単Pの減少をはじめ、多様な課題に直面しています。統合に伴い評議員会の人数は減りましたが、気軽な意見交換の場としての役割を果たしています。また、令和７年度の教職員組織（飯水教育会と中高教育会）の合併に伴い、連合会としての連携のあり方も模索している段階です。各単Ｐでも保護者負担の軽減に向けた活動の見直しが進んでいます。

こうした変化の中、５月の評議員会で常田会長は「県ＰＴＡの研修会にどんどん参加しよう」と呼びかけました。活動縮小の波の中でも、他地区との交流から元気とアイデアを得て、まずは自分たちが楽しもうという前向きな姿勢を示したものです。



実際に４月と10月の県ＰＴＡ陽だまり研修・懇談会、８月の日本ＰＴＡ奈良大会に参加し、11月の関東ブロック山梨大会には中高ＰＴＡの皆さんと電車での道中を楽しみながら４名で参加します。飯水ＰＴＡ連合会として何ができるか模索は続きますが、学校間のつながりを大切にしながら、飯水ＰＴＡ連合会らしい活動を推進していきます。

（飯水ＰＴＡ連合会 事務局　飯山市立飯山小学校教頭　平田久貴）

東信　対話でつながり、みんなで考えるこれからのPTA



全佐久ＰＴＡ連合会

51校からなる全佐久ＰＴＡ連合会は、今年度のスローガンを「『対話から生まれる知恵』でつながるＰＴＡ活動…子どもと地域の未来を共に考えましょう」とし、以下の２つの柱で活動しています。

柱１：「学びと情報共有」…役員選出から行事の精選まで他校の『リアル』が、自校の『ヒント』になる。ざっくばらんな情報交換の場をつくりましょう

柱２：「心の負担を軽く」学校・家庭・地域の垣根を越えて…100%じゃなくていい。肩の力を抜いて、無理なく楽しく子どもたちの笑顔を支えるチームをつくりましょう。





これに基づき、今年度は、各校ＰＴＡ役員の参加のみでなく、多くの保護者や地域の方々も対象にした研究集会的な企画に変更をしてきました。信州“教育の日”では、「つながりひらく越境する学び」をテーマに全佐久ＰＴＡ連合会として分科会を設けＣＳ×ＰＴＡ×教育会の協働の実践を振り返り、今後のＰＴＡ活動のあり方を引き続き考えたいと思います。

（教師理事　佐久市立高瀬小学校 校長　山岸ともみ）

中信　つながりを大切に、未来へつなぐ木曽のＰＴＡ



木曽郡ＰＴＡ連合会

木曽郡は、北から南へ縦に長く広がる山間地域です。豊かな自然に恵まれ、小規模の学校が多いことから、学校と家庭、地域との距離が近く、地域全体で子どもたちを見守り育てるつながりが大きな特色となっています。

近年、少子化やライフスタイルの変化など、子どもたちや保護者を取り巻く社会環境は大きく変化しています。こうした状況を踏まえ、木曽郡ＰＴＡでは今年度から、これからの時代にふさわしいＰＴＡのあり方について、本格的な検討をスタートしました。各校が抱える課題や工夫を共有し、木曽郡全体でこれからのＰＴＡを考えていきます。



これまで木曽郡のＰＴＡが培ってきたつながりや活動の歴史を大切にしながら、今年度から始まったＰＴＡのあり方についての検討を、一年限りで終わらせることなく、次の世代へとつないでいきたいと考えています。郡内のＰＴＡ同士、学校・保護者・地域が互いに支え合い、役員や事務局が変わっても、これまでの議論や思いを共有しながら、継続してこれからのＰＴＡの形を考えていきます。

（木曽郡ＰＴＡ連合会会長　丸山　悠介）

南信　地域をまきこんだ新たなつながりを



上伊那ＰＴＡ連合会

今年度は、ＰＴＡと学校、地域をつなぐ機会をつくりたいと考え準備しています。



近年、家庭の生活スタイルや価値観の変化により、上伊那の各単位ＰＴＡでも、活動への参加や役員の担い手不足など、さまざまな悩みを抱えています。負担を減らすために活動を「なくす」、「減らす」ことも必要なのかもしれませんが、それによってＰＴＡだからこそ得られる学びやつながりまで失ってしまわないか、と考えることも大切です。

それぞれの単位ＰＴＡ役員が集い、経験や工夫、悩みを共有するとともに、地域の皆さんや議員の皆さんとも子どもたちの成長や未来について語り合い、これからのＰＴＡのあり方を一緒に考えていきたいと思います。



上伊那の地域性や人と人とのつながりを生かし、保護者も先生も地域も前向きに関われるＰＴＡへ。上伊那で新たなつながりを広げ、子どもたちの未来を共に支えていける機会ができればと考えています。

（上伊那ＰＴＡ連合会会長　西村　渉）

【「県Ｐ通信 第２号」お詫びと訂正】
長野県ＰＴＡ連合会広報紙「県Ｐ通信第２号」７ページに掲載いたしました、長野県16郡市紹介「飯田下伊那ＰＴＡ連合会」の記事について、記載内容に誤りがありました。読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。下記のとおり訂正いたします。
１．文章の訂正【誤】近年では、部活動の地域展開、学園構想が大きな動きといったところでしょうか。
【正】近年では、部活動の地域展開、学校の統合などが話題となっています。
【誤】学園構想は令和９年度実現に向け取り組んでいる学校があります。同じ校舎で複数の小学校、中学校が一緒に学んで行く環境になります。
【正】学校の統合については、私の地域ではPTAや地域の方々で、今後、同じ校舎で小学校、中学校が学んでいけるように話し合いが進められています。
２．学校名の訂正【誤】飯田市立大手町小学校　　【正】飯田市立追手町小学校
このたびは、確認が不十分であったために誤った情報を掲載してしまい、誠に申し訳ございませんでした。今後は、内容の確認をより徹底し、再発防止に努めてまいります。



新コーナー「事務局長のひとり言」がスタートしました！日々のＰＴＡ活動や仕事を通して感じたこと、ちょっとした気づきや思いなどを、事務局長の目線で気ままにつづります。時には真面目に、時にはユーモアを交えながら、ＰＴＡを身近に感じていただけるひとときをお届けします。

－　事務局長のひとり言　Vol.１　－

「教育」と「〇育」

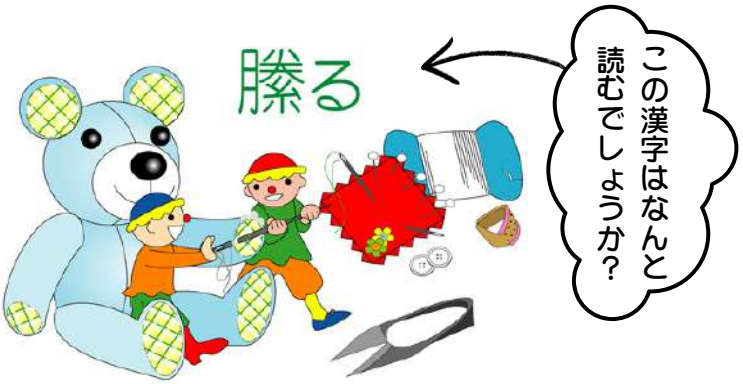
「教育」は、「教えて、育てる、又は育つ」と書きます。では、他にどのような「〇育」という言葉が考えられるでしょうか。「強育」「競育」「脅育」「恐育」「狂育」「叫育」「凶育」「鏡育」「矯育」「怯育」「胸育」「響育」「興育」「協育」「郷育」等あげられます。「競育」は、友達といつも競争させられながら育てられること。「恐育」は、恐怖や不安を感じながら育つこと。「矯育」は、自分で考えて行動するのではなく、誰かが決めたルールに従うように矯正されながら育つこと。「胸育」はどうでしょうか。頭で考えるだけでなく、自分の胸に手を当てて、相手の気持ちや立場を想像し、思いやりの心を自ら育てること。「郷育」は、故郷の歴史や自然に触れ、地域の人たちと協同しながら育つこと等考えられます。

令和７年度の長野県ＰＴＡ連合会のスローガンは、「共育～共に育て、共に育つ～」でした。令和７年度長野県ＰＴＡ連合会会長の城村義人さんは、「年度所信」の中で、「教育とは、共に育つ『共育』であり、子どもたちの成長を通して親も教師も地域も育まれていく」と述べています。

私が特にいいなと思うのは、「響育」です。音楽には、人の心に響き、気持ちをつなぐ力があると思います。「音楽コンクール」で発表される合唱や合奏も、もちろん素晴らしいです。しかし、私は「校内音楽会」が大好きです。子どもたち一人ひとりが音を重ね、みんなで心を合わせて先生と共に一つの音楽をつくり上げる。その過程には、互いの思いを感じ取り、認め合い、心を響き合わせる大切さがあるのではないでしょうか。教えるだけでなく、心に響く。育てるだけでなく、共に育つ。そんな「響育」を、これからの子育てやＰＴＡ活動の中で大切にできたらいいなと思います。

（長野県ＰＴＡ連合会　事務局長　鈴木　雅幸）





ヒント　クマさんのお手て、なおしてあげるからね



第３７回 広報紙コンクールの作品を募集します!

皆さんの学校の広報紙をコンクールに応募してみませんか？
令和８年４月から令和９年３月発行の広報紙が対象です。
印刷物は各号**６部**づつ、ＷＥＢ版はデータでの応募となります。
募集期間は令和９年３月末まで！

他の学校はどうやって作っているの？
広報紙って何を載せたらいいの？

そんな疑問もふくめ、コンクールの詳細は県ＰＴＡ事務局までお気軽にお問合せください。　問い合わせ先⇒

発行・編集
長野県ＰＴＡ連合会
住　所
長野市旭町１０９８
信濃教育会館内
TEL
026-235-4361
MAIL
office@pta-naganoken.net
公式ホームページ